

<A群:正誤判定式>

以下の問題が正しければ○を、誤っていれば×をマークしなさい。

- ① 一度完成した作業標準は、改善すべきではない。
- ② 自主保全活動における3種の神器とは、エフ、マップ、定点撮影のことである。
- ③ TPM活動の基本理念の1つは、現場現物主義である。
- ④ FTAは、故障の発生経路や原因などを、予測・解析する手法である。
- ⑤ ハンドタップは、通常2本1組で使われる。

<B群:多肢選択式(3択a形式)>

以下の問題文を読んで、[]内に当てはまる語句として、適切なものを選びなさい。

- ① []は、データを分類し、分類項目ごとの構成割合を比較することに適している。
- ア. 散布図
 - イ. 円グラフ
 - ウ. 特性要因図
- ② 自主保全活動において、「劣化を防ぐ活動」は、[]部門が中心となって行う活動である。
- ア. 管理
 - イ. 保全
 - ウ. 製造
- ③ []保全是、維持活動と改善活動に大別される。
- ア. 生産
 - イ. 改良
 - ウ. 時間基準
- ④ なぜなぜ分析は、[]をスタートとして、分析を進める手法である。
- ア. 対策
 - イ. 発生現象
 - ウ. 発生原因
- ⑤ []は、適正なトルクでボルトを締め付けたいときに適した工具である。
- ア. ドライバー
 - イ. モンキーレンチ
 - ウ. スパナ

<B群:多肢選択式(3択b形式)>

以下の問題文を読んで、解答しなさい。


- ① 防じんマスクを着用する目的として、適切なものを選びなさい。
- ア. 酸素濃度の低い場所でも、酸素欠乏状態にならないようにするため
 - イ. 作業中に、人体に有害な物質を吸引しないようにするため
 - ウ. 火気を取り扱う作業時に、顔に火傷をしないようにするため
- ② 重複小集団活動におけるポイントとして、適切なものを選びなさい。
- ア. 1つの小集団に参加するメンバー数は、多ければ多いほどよい
 - イ. 上の集団のメンバーが、その下の集団のリーダーとなる
 - ウ. オペレーターが中心となり構成される小集団には、リーダーは不要である
- ③ 設備の稼働時間の説明として、適切なものを選びなさい。
- ア. 負荷時間から、性能ロス時間を差し引いた時間である
 - イ. 負荷時間から、停止ロス時間を差し引いた時間である
 - ウ. 負荷時間から、不良ロス時間を差し引いた時間である
- ④ PM分析において、関連性を追求する4Mに含まれる要素として、適切なものを選びなさい。
- ア. 失敗(Mistake)
 - イ. 測定値(Measurements)
 - ウ. 材料(Material)
- ⑤ プラスチックの特徴として、適切なものを選びなさい。
- ア. 電気や熱に対する絶縁性が高い
 - イ. 金属材料であり、腐食しやすい
 - ウ. 高温で使用しても変形しにくい

<C群:多肢選択式>

課題:作業の安全

【作業における安全上の問題点】を見て、①～③に当てはまる選択肢を選びなさい。

【作業における安全上の問題点】

<p>作業風景 (配管の塗装作業)</p>	
<p>安全上の問題点</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 作業者が ① をつけていない・ 通路に ② の表示をしていない・ 塗料が ③ に放置してある

<選択肢>

ア. ヘルメット	イ. 保護メガネとマスク	ウ. 指差呼称
エ. 保管場所	オ. 通路上	カ. 通行禁止